

平成27年度第2回うらわ美術館協議会会議録

1 日 時 平成28年3月25日（金）午前10時00分から午前11時30分

2 場 所 うらわ美術館会議室

3 出席者 坂本会長 大久保副会長 石上委員 久米委員 倉林委員 小池委員
先崎委員 宮田委員
稲葉館長 星野副館長 酒井主幹 島田主幹 下妻主査
* 小林委員、久田委員は都合により欠席

4 次 第

開会

館長挨拶

議事

- (1) 平成27年度事業報告について
- (2) 平成28年度事業概要について
- (3) その他

閉会

5 議事内容

副館長 ご多忙の折、会議にご出席いただきましてありがとうございます。
開会に先立ちまして、稲葉館長より一言ご挨拶を申し上げます。

館長 [挨拶]

副館長 それでは、ただいまより、平成27年度第2回うらわ美術館協議会を
開会いたします。

これより先は、うらわ美術館協議会規則第3条の規定により会長に議
事進行をお願いいたします。坂本会長、よろしく願いいたします。

坂本会長 本日は、小林委員、久田委員が所用によりご欠席されております。出
席状況は、出席が8名、欠席が2名です。

うらわ美術館協議会規則第4条による会議成立の要件の委員の過半数
を超えておりますので、本会議は成立いたします。

次に本会議は原則公開としていますが、傍聴を希望される方はおりま
すか。

事務局 傍聴を希望される方はおりません。

坂本会長 では、お手元の次第に従い、進行をさせていただきます。

なお、本日の会議は、午前11時30分ごろを終了予定と考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

議事の(1)「平成27年度事業報告について」の説明を事務局からお願いいたします。

事務局 「平成27年度事業報告について」説明]

坂本会長 ただいまの説明について、何かご質問等ありましたらお願いいたします。

石上委員 学校との連携事業について人数が入っていないことと、展示室貸出事業の一般利用が18団体ということですが、どういう団体が利用したか一覧にした方がいいと思います。一覧にしない理由がありましたら教えてください。

事務局 年度の途中ですので、集計中です。平成27年度の評価をいただく次年度の協議会の際には、まとめてお示しさせていただきたいと思います。

ちなみに現在把握しているところで申し上げます。本の出張授業は、9校37クラス、鑑賞キット「埼玉アートカード」の貸出しは、13校です。美術鑑賞授業につきましては課題となっております。埼玉大学附属小学校と、さいたま市立柏陽中学校の美術部と、川口市立八幡木中学校の3校の来館となっております。

坂本会長 一覧にした方が、納得を得やすいですね。

大久保委員 展示室貸出事業の一般利用が18団体ということですが、応募して落ちた団体はありましたか。

事務局 重なった場合は抽選になりますが、今回は、ありませんでした。

坂本会長 他に何かご質問などありませんか。

ないようですので、次の議題、議事の(2)「平成28年度事業概要について」の説明を事務局からお願いいたします。

事務局 「平成28年度事業概要について」説明]

坂本会長 ただいまの説明について、何かご質問等ありましたらお願いいたします。

大久保委員 コレクション事業の福田尚代展ですが、どんな作品を収集しているのですか。

事務局 当館では、何点か収集しています。最近の収蔵作品としては、鉛筆を削って芯だけにして、それを骨のように組み立てた繊細な作品があります。現代アートですので説明が難しいのですが、小品ながら物語性のある文学的な作品です。さいたま市在住で本のアートを手がける美術家ですので、当館の2つの収集方針と合致します。

大久保委員 トリエンナーレの期間中に、この福田尚代展を行うのですね。

事務局 はい。その期間はトリエンナーレ関連事業として、トリエンナーレの

「未来の発見！」というテーマに沿ったコレクション展を1本開催します。

それとは別に例年、新収蔵品をなるべく早くご紹介するコレクション展を開くようにしています。この流れを汲むのが、福田尚代展ということになります。そのため、同時期に2つのコレクション展を開催する計画です。

坂本会長 他に何かご質問等ありませんか。

石上委員 トリエンナーレ関連事業として、情報コーナー全室を提供するというのですが具体的にはどのような活動をするのですか。

事務局 トリエンナーレ開催時、A B C D室の展示室すべてで「さいたま市美術展」が開催されますので、美術館にはあと美術館の情報発信の場である情報コーナーしか、提供できるスペースがありません。その情報コーナー全室を、トリエンナーレの広報活動協力として実行委員会にお貸しするという形になります。情報発信の方法などは、実行委員会にお任せします。トリエンナーレの広報活動協力が終了後、本棚などを増設して情報コーナーを再整備する予定です。

坂本会長 他に何かご質問等ありませんか。

大久保委員 トリエンナーレ終了後情報コーナーを戻してもらおうということですが、レイアウトなどは変わるのですか。

事務局 古いVHS機器を撤去しますと、ガランとした空間になります。壁、絨毯を新しくきれいにし、空の状態でトリエンナーレの実行委員会にお渡しし広報活動利用していただきます。12月のトリエンナーレ終了後、情報コーナーを再整備します。本棚等を増設して、出張授業で紹介しています「しかけ絵本」や、「ポップアップブック」などの閲覧書籍を充実させる予定です。

大久保委員 情報コーナーの再整備の予算は、トリエンナーレから出るのですか。

事務局 うらわ美術館の整備ということになりますので、うらわ美術館に配当された予算になります。

坂本会長 トリエンナーレは、美術館の情報コーナーのようなコーナーをあちこちに作るのですか。

事務局 昨日トリエンナーレの実行委員会が開かれ、本日3時から都内で記者会見があるそうです。その際配られる資料を、参考までにみなさまの机上に置いてございます。これから広報がどんどんされていくと思います。美術館としても広報協力ということで情報コーナーを提供させていただきたくということになります。

大久保委員 トリエンナーレは9月からですから、もうすぐのことですね。街で広報を見かけてもよさそうですが、駅の掲示板でA4ほどのチラシが貼ってあるのを見たくらいです。知らない市民の方が多いでしょうが、今日の記者発表後、大々的に広報を打ってくるのでしょうか。

坂本会長 トリエンナーレはあちこちの様々な地域で行われ始め、普通の言葉としてだんだん使われてきているので、相当上手に行わないと埋もれて消えてしまいますね。

他に何かお気づきの点等ありませんか。

石上委員 情報コーナーに関連してですが、古い機器を撤去して本を閲覧できるようにすることは、とてもよい取組と思います。さらに、それらの本をデータ化していただくと、よりいいと思います。本は物なので、いずれ壊れてしまいます。貴重な本のデータ化を行い、インターネットで見ることが可能になるといいですね。著作権など難しい問題があるとは思いますが、アーカイブ化が大事といろいろなところで言われています。それができれば、本の美術館の未来の形となっていくと思います。

坂本会長 私はある大学の大学院で、10人位の学生によく「しかけ絵本」を見せています。丁寧にゆっくり開いてくださいと、「しかけ絵本」を回すのですが、どうしてもパッと開く人がいて、壊れて戻ってきてしまいます。紙ですから、ちょっと力を入れるとすぐ壊れてしまいます。紙はもろく、それだからこそ、魅力があるのですがね。壊れやすい本は私が開いて見せるだけにしているのですが、一瞬で変化するところを見て楽しみたいと誰もが思うのです。今は、そういう「しかけ絵本」の制作者をペーパーテクノロジーリストといいます。パッと開きますとワァーと見事に盛り上がってきたり、動かし方によって変化の仕方が違ったり、昔とはまるで違ういろいろな工夫がなされています。複雑な仕掛けが、音を立てて、ひっかからずに大きく開くものなどもありますが、どれもとても繊細によくできています。繊細だからこそ、壊れやすいですね。

事務局 そのことで、現在担当者が考えていることがあります。子どもたちに、ゆっくり開きましょうと言ってもわからないそうです。具体的に、1・2・3・4・5と数え、さあ開きましょうというマニュアルを、作成しているところです。

各委員 なるほど。具体的でとてもいいですね。(口々に)

事務局 確かにすぐ壊れてしまうのは、とても大きな課題です。実際、ほんとなにすぐ壊れてしまいます。

開く様子を映像にして紹介すればとも思いますが、著作権上の制約もあると思います。一般的な書籍ですと公的機関による複製は認められているところもあるのですが、造形性に重きをおく「しかけ絵本」となるとアイデアが重要になりますので、映像は著作権上、難しくなります。

すぐ壊れてしまいますが、実物で体験してもらうしか、今のところないと思います。

坂本会長 糊でくっつけたりして何度も補修しても、またすぐ壊れてしまいますからね。

- 事務局 参考までに、最近新しく入手しました『オズの魔法使い』、『不思議の国のアリス』、『リトルマーメイド』、『スターウォーズ』、『ポーラー』、『カレイドスコープ (まんげきょう)』などの、「しかけ絵本」の実物をご覧くださいませ。どうぞ。
- 先崎委員 12月以降、この夢のある素敵な「しかけ絵本」を情報コーナーに設置するのですね。取扱いが難しそうですが。
- 大久保委員 そうですね。監視員さんが神経を使って大変ですね。
- 坂本会長 他にご質問等ありませんか。
- 大久保委員 トリエンナーレが開催されることにより、うらわ美術館への予算面や人的、物的メリットはありますか。
- 事務局 連携事業ですので、お互いの広報活動の相乗効果を期待しています。この時期、当館で開催されるコレクション展の入館者が、トリエンナーレの広報活動によって増えることを期待しています。
- 予算等については、トリエンナーレはトリエンナーレで、美術館は美術館で、それぞれ別々で所管することになります。
- 石上委員 「さいたまトリエンナーレ2016」の開催概要の4ページに、事業構成が示されています。
- 実行委員会主催事業は、アートプロジェクトとさいたまスタディーズです。関連事業として、市民プロジェクト、連携プロジェクト、その他関連事業となります。うらわ美術館は、連携プロジェクトとして位置づけられています。具体的には、広報協力ということです。アートプロジェクトに来た人たちが、ついでに寄っていく可能性に期待するということです。通常ですと、さいたま市民や埼玉県民しか観ないようなものでも、それ以外の人たちが観に来る可能性があるというしかけです。
- 広報の件も、先ほどの「さいたまトリエンナーレ2016」の24ページに記してあります、さいたまアートステーションが実はもう開いています。ここからほど近い中山道沿いのナカギンザビルで、情報発信を既に行っています。そして、美術館でも情報発信することになります。
- 事務局 広報は、とても大変なことです。美術館は、スペース提供の協力となります。トリエンナーレが、どこで何を行っているかそこへ行けばわかる場になればと考えています。
- 大久保委員 そこへ行けばわかる場ではなくて、もっと違った広報でないと気づかれにくいと思います。難しいですね。
- 石上委員 結局、インターネットで情報発信された内容や地図や時間などを見て、興味を持った人が現場へ行くという形になると思います。ネット社会ですから、紙を配ることには限界があります。おそらく、10年経たないうちに紙や本はほとんどなくなると思います。すべて、インターネットになると思います。

大久保委員　でも、最近若い書店のオーナーが、本のジャンルを独自の視点に立ったコーナーをつくり、それと関連した音楽等ジャンルを越えたレイアウトによる店を開き人気があるそうです。そして、そこが好事家のコミュニティになっているという報道がありました。

坂本会長　コミュニケーションというのはインターネットだけでは形成できないものなので、そういうものは残っていくのでしょうか。

石上委員　特別なものや、そこへ行かないとできない体験や、価値のある貴重なものは残ります。レコードが衰退した時、完全に無くなってしまおうと思いましたが、いまだに作られています。それと同じように、本も完全には無くならないと思います。本が、貴重である、特別な体験である、今と違うものになるのは、多分そう遠くないことと思います。そうすると、美術館の存在意義も変わってくるのではないのでしょうか。

坂本会長　そうですね。

美術館は、20世紀のアートに即したような形でうまれました。ところが、20世紀後半には美術館の枠を超えるような、インスタレーションやパフォーマンスの類いが出て来ています。これからどうなっていくかは、電子的な道具が大きなカギを握ることになるでしょう。

久米委員　さいたま市美術家協会は、トリエンナーレに参加します。10月10日から24日まで、埼玉県立近代美術館において斬新で華やかなお祭り気分たっぷりの展覧会を開催しようと、会員一同張りきっていますのでどうぞお立ち寄りください。

坂本会長　他にご質問等ありませんか。

なければ、次に議事の（3）その他ですが、事務局から何かございますか。

事務局　特に、用意してございません。

坂本会長　他にないようですね。時間もまいりましたので、このあたりで終了させていただきます。

委員の皆様には、大変貴重なご意見等をいただきまして、誠にありがとうございました。

それでは、本日の協議会をここで終了させていただきます。

進行を事務局へお返しいたします。

副館長　これで平成27年度第2回「さいたま市うらわ美術館協議会」を閉会いたします。

本日は、長時間にわたりご協議をいただきまして、誠にありがとうございました。